

## 【具体的施策】

「20年後に実現したい姿」から現状を振り返り、今後4年間で進める具体的な施策を次のとおり定めます。

### (1) 若者が定着する持続可能な地域づくり

#### <現状分析・課題>

▼ 若者がU I ターンなどにより地域に定着する施策が必要です。

・地域には福知山公立大学などの高等教育機関が立地し若者が集まりやすい環境もありますが、それ以上に高等学校卒業後に進学や就職で地元を離れる若者が多い状況にあります。

・こうした状況の中で人口減少が進み、過疎集落が増加するなどして地域全体の活力の低下が懸念されますが、一方では、I ターン等による移住者が増え、その活躍が目立つような前向きな動きも出てきていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、地方への移住に対する関心はさらに高まっています。(移住相談窓口を通じた移住者数 平成27(2015)年度 77人、令和2(2020)年度 149人)

▼ 社会全体で子育てを支援する環境づくりや、子どもから高齢者まで安心して健やかに暮らせる施策が必要です。

・出生数は、全体として減少傾向にありますが、合計特殊出生率は府内でも高い地域です。

福知山市 2.02 (府内1位)

舞鶴市 1.90 (府内2位)

綾部市 1.62 (府内6位)

京都府 1.32

※平成25(2013)年から平成29(2017)年平均

・高齢化率は、令和22(2040)年に37%を超える見込みとなっています。

(高齢化率 平成27(2015)年 26.9%、令和2(2020)年 29.3%)

▼ 住民生活の中で大きなウエイトを占める「しごと」について種類や働き方を充実させ、担い手の確保・定着を図るために、製造業や農林水産業をはじめとする地域産業の更なる振興と雇用の促進が必要です。

・企業立地の増加や景況等を反映し、製造品出荷額等は平成28(2016)年の5,729億円から、令和2(2020)年は6,447億円に増加していますが、一方で、新型コロ